

諮問に対する前回開催時の質疑応答等について

1 家庭における生ごみ分別推進のための具体的方策について

(1) 啓発について

Q クリーンセンターで、選別などいろいろ苦勞しているが、こういう現場を写真に撮って各町内に配布をしたらどうか。

A 全くそのとおりだと思う。

Q まず知ってもらう工夫が必要だと思う。

(2) 現場指導等について

Q 地区別の組成分析結果があるが、その中でもさらに細かい地区でひどいところがあると思う。そのような自治会などに申し入れをすることはあるのか。

A 現在は行っていないが、調査結果に基づき、申し入れ等をしたいと考えている。苦情が来た場合はごみステーションのパトロールを行っているので、管理されている担当の方に注意喚起は行っている。

Q 実際に分別が始まってから、ごみステーションに立ち入ったのチェックや検査、指導などはしたのか。

A 始まった年の8月に各地区で普通ごみの中に含まれている生ごみ量の分析を行い、その結果に基づき各町内会に啓発を行って、再度分別のお願いした。

Q 人海戦術で、ステーションで、出す人一人ずつを捕まえてお願いし、協力してくれなかったら、家までお邪魔して分別を説明して、1軒一軒回って分別を徹底させているという事例もある。

Q 年齢構成や個別・集合など住宅の形態によっても特性があると思う。地区ごとの細かい分析をし、一つ一つ解決する必要があるのでは。

A 収集車のルートなども参照し、どのような特徴があるのかということを含めて分析していきたい

Q やはり個別に指導していくことの時期を迎えているのでは。そのアイデアをこの審議会のなかで出して解決していくしかないのではないか。

Q 町内会で実際にごみステーションを見ていただいている方や、ご苦勞されている方の声など、そのようなことをヒアリングする、あるいは審議会にオブザーバーとして参加していただいて御意見をいただくようなことも必要なのではないか。

Q 町内会の件で明らかに生ごみがピンクの袋に入っているというのがわかるものがあるが、トラブルにならないよう、どういうふうに対応しているのか知りたい。

(3) 分別のしやすさについて

Q 隣近所の声で、生ごみの袋に入れる前に水を切って他の袋に入れて袋にためているが、家の中に置いておくと夏の間は臭う、外へ置くと虫がつくと言っている。生ごみを分別したいけれどもどうしたらいいかという声がある。臭わなくて家の中における容器のようなものがあれば良いという話もある。

Q ごみステーションのかご設置状況は。

A 家庭ごみを有料化した際に助成制度を設けたが、物理的に設置が難しいところ意外はおおむね設置されているのではないかと考えている。

Q アンケートの中では、卵の殻や貝殻など、生ごみとして出せないものがあるからという回答が多いが、この結果で対応を考えるとバイオガス化処理ができなくなると思うがどうか。

A まず、卵の殻などカルシウムの高いものは処理施設に悪影響を及ぼす。また、同じ分別区分で恵庭市がやっているが、収集率は大変高いので卵の殻などが出せないから収集率が下がっているとは考えていない。

Q 面倒だからというのが、実際こういう声をいっぱい聞くので、もっといてもいいのではないかと思うが。

A ほんとにめんどうな人はアンケートにも答えてないのでは。

Q 隣近所の声で、生ごみの袋に入れる前に水を切って他の袋に入れて袋にためているが、家の中に置いておくと夏の間は臭う、外へ置くと虫がつくと言っている。生ごみを分別したいけれどもどうしたらいいかという声がある。臭わなくて家の中における容器のようなものがあれば良いという話もある。

Q 高齢者の方とかといろいろ接する機会があり、その中で指定ごみ袋の枚数を10枚から30枚ぐらいに用意してほしいという声もある。

2 事業系一般廃棄物及び産業廃棄物処理手数料の見直しについて

(1) 値上げの是非について

Q 北広島市の開催人口が少しずつ減少してきており、家庭系ごみはそれに伴って減ってきているが、事業系の廃棄物は増えているがこの理由は。

A 事業系のごみの増加は、経済状況に比例するといわれている。経済状況が良くなったことによって、それに伴いごみが多くなってきたということが言えると思う。

なお、現在輪厚に工業団地造成しており、企業立地が増えたらそれに伴い、事業系のごみも増えると思込まれる。

Q 北広島の事業系の手数料が抑えられていることによって、企業誘致になっているということはあるのか。

A 手数料が上がったからといって倒産することはないと思う。

Q 市内で出た産業廃棄物は受け入れている状況だが、今後も同様か。

A 市内で処理ができない動植物性残さについては市で埋立処分しなければならないので、受けざるを得ない。

(2) 値上げの幅について

Q 事業系のごみは、手数料が非常に安い。周りの市町村を見ても、100円以下というところはもうない。やはり、近隣と同じくらいに設定したほうがいいと思う。

(3) 手数料の考え方について

Q 処理手数料の価格決定にはその原価を計算した上で、例えば100円かかるから120円もらおうという考えもあり、また価格をいくらにしたら数がどれくらいなるかという原価ではなく価格という考えがある。減らしたかったら価格を上げるしかないと思う。価格を上げると減る。

(4) 最終処分をするものと中間処理（生ごみは下水処理センターでバイオガス化処理される）をする生ごみとの差について

Q 事業系の生ごみに金銭的なインセンティブを検討してはどうか。

A 埋め立てるものについては高くし、何らかの形で資源化できるものについては安くするような手だてについて意見をいただきたい。